



令和5年度 金井中学校グランドデザイン

主体的・創造的で感動的な場面が繰り広げられるK中生徒会

《目指す学校像》

- 学ぶ楽しさが実感できる学校
- 自主自律の活動が日常的に行われる学校
- 安全・安心で居心地のよい学校

《目指す生徒像》

- 自ら考え、表現できる生徒
- 共に高まろうとする生徒
- 粘り強くやり抜く生徒

《目指す教師像》

- 日々研鑽に努め力量を高める教師
- 生徒の自己指導能力を育てる教師
- 生徒・保護者から信頼される教師

《地域とともに歩む学校》

- コミュニティ・スクールとして、地域学校協働活動を積極的に推進します。
- 保護者の期待に応え、地域に貢献できる学校を目指します。

＜学校評価目標＞

- 知育 ①授業の学び合いに主体的に参加している生徒が70%以上
②家庭学習の目標時間に達する生徒が70%以上（現状64%）
- 徳育 ③「学校が楽しい」の肯定的評価が90%以上（現状81%）
④「思いやりをもって接している」の肯定的評価が90%以上
- 体育 ⑤運動に意欲的に取り組む生徒が90%以上（現状92%）
⑥7時間以上睡眠をとる生徒が70%以上（現状54%）

教育目標

確かな知識 豊かな心 強い体

重点目標

自ら行動し、共に高まろうとする生徒

学校の教育課題の解決

紫陽花（あじさい）の咲く学校

- 「あ」・・・あいさつの励行
「じ」・・・時間・時刻の厳守
「さ」・・・サービス（貢献）の心
「い」・・・いじめ見逃しゼロ



＜確かな学力＞

- ◎ 授業改善
 - ・高めたい思考力を明確にし、「学び合い」の視点を取り入れた主体的・対話的で深い学びの授業づくり
 - ・タブレット等ICT機器を効果的に活用する授業
- 家庭学習習慣の継続（家庭学習力の向上）
 - ・家庭学習に取り組む始めるPT（Power up Time）
 - ・家庭学習力UP大作戦による「粘り強さ」の育成
- 一人一人に応じた指導・支援
 - ・定期テスト前の朝の全校一斉補充学習
 - ・生活単元学習を中心とした特別支援の教育課程実施

＜不登校・不適應の防止＞

- ◎ 人間関係づくりと社会性の育成
 - ・学年部の全職員で豊かな心を育てるローテーション道徳の充実
 - ・生徒指導部会等での具体的方策の立案・実施
 - ・「心の健康チェック」の活用
 - ・授業中での「成長を促す生徒指導」の実現
 - ・生徒会活動における「自主・自律」の取組
- 小中の連携による中1ギャップの解消
 - ・9か年を見通した「学びのスキル」の育成
 - ・一人一人に寄り添う丁寧な対応と保護者との連携

＜郷土を愛し、地域に貢献する人間の育成＞

- ◎ 佐渡学及びキャリア教育の充実
 - ・学んだ伝統芸能、文化の発表
 - ・より一層課題解決型を目指した職場体験
 - ・地域と連携し、地域の活性化につながる貢献活動
- 学校支援ボランティアの継続・発展
 - ・総合的な学習の時間の外部指導者の充実
 - ・部活動指導員、外部指導者の継続・充実
 - ・学校と地域がWin-Winとなる地域学校協働活動
 - ・PTA奉仕作業、SSSによる庶務の補助

【時代や社会の要請】

- 学習指導要領
 - ・資質・能力の育成を目指す「主体的・対話的で深い学び」の授業
 - ・社会に開かれた教育課程の編成・実施
- 新潟県学校教育の重点
 - ・地域の特色を生かし、地域とともに歩む学校づくり
 - ・児童生徒が主役の授業づくりの推進
 - ・いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成
- 佐渡市教育の大綱・学校教育の重点
 - ・学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 ・郷土愛を軸にしたキャリア教育（佐渡学を中核に） ・安全安心な学校づくり（いじめ見逃しゼロ・不登校を生まない） ・家庭・地域の教育力の充実

【生徒の実態】

- ・落ち着いた学校生活を送っており、前向きに努力する生徒が増えている。
- ・重点目標「自ら行動し、共に高まろうとする生徒」が具現しつつある。
- ・生徒主体の活動場面では、教師の予想や期待を超える底力を発揮する。
- ・NRT学力検査の結果、全国水準を維持しているものの数学と英語が課題である。
- ・家庭学習時間はどの学年も佐渡市13校の平均を上回っている。
- ・明るく素直な生徒が多いが、人間関係がうまく保てないで悩む生徒、自己肯定感が低い生徒がいる。

【教職員の働き方改革】の推進（目標：時間外勤務月45時間以内）

☆ 生徒と向き合う時間の確保と、豊かな人間性を有する教育者としての成長をめざす ☆

学校運営協議会

保護者・地域の願い

- 将来の選択を広げる学力の向上
- 安全で安心な学校生活
- 部活動での技能の向上と充実した学校生活
- 地域社会を知り、地域を愛する子どもの育成